

## 川場村グリーンバリュープログラム

### 活動場所

- ・位置……………群馬県川場村
- ・フィールドタイプ……森・その他（周辺里地）

### 活動の目的

森林は生物多様性の源であり、温暖化防止にも重要な役割を果たします。しかし、木材価格の低迷など近年の林業を取り巻く環境から、その維持は難しくなっています。

清水建設は東京農業大学と森林資源を有効活用し、ふるさとの持続的な発展を目指す取組みを進めており、これをグリーンバリュープログラム（GVP）と名付けました。これまで手入れされていなかった森林を適切に利用することで、森林・里山保全に寄与します。

### 活動の内容

GVPの具体的な取組みとして、清水建設と東京農業大学、群馬県川場村は平成24年2月に包括連携協定を締結し、川場村における事業モデルの検討・具現化を進めています。

森林の生態系保全や樹木の成長維持のためには、間伐や森林資源の利用が必要です。ただし、持続的な間伐施業を行うためには経済的観点不可欠です。

そのため、川場村における取組みでは間伐材を起点とし、以下の4つの事業に取組むことで、森林資源に価値を見出し、新たな雇用の創出や地域の活性化につなげます。

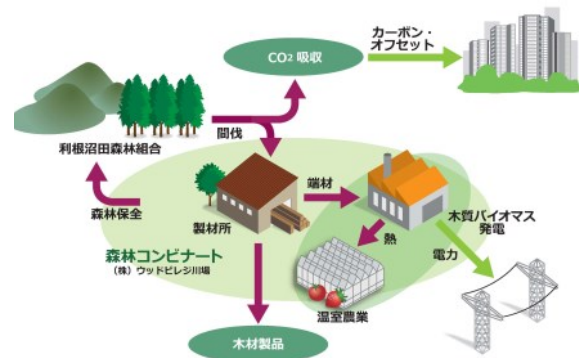
- 1) 間伐材を利用した製材事業
- 2) 未利用木材や製材端材を用いた小規模バイオマス発電
- 3) 発電時の排熱を利用した温室農業
- 4) 適切な森林経営活動によるJ-クレジットの創出と建物のカーボンオフセットへの利用

### 今後の展望

GVPは地域社会と産学の連携により、日本の林業が抱える問題の解決を試みるものです。この取組みが他の中山間地にも展開可能な一つのモデルになるよう取組みの具体化を進めていきたいと思ひます。

### 一言コメント

平成27年4月に川場村におけるGVPを中心となって運営する(株)ウッドビレジ川場を立上げ、平成28年4月には最初の事業となる製材所が稼働します。構想全体が実現するまでにはもう少し時間がかかりますが、社会課題解決型の環境への取組みとして事業実現に向けて挑戦していきます。



※木材コンビナート……森林資源を有効に活用するための拠点  
川場村、清水建設、利根沼田森林組合等が出資する(株)ウッドビレジ川場が中心となり、運営します。

グリーンバリュープログラムのスキーム図



川場村の田園風景



GVPの中心となる製材所

### 実施体制

構成員：清水建設株式会社、群馬県川場村、東京農業大学

事務局：清水建設株式会社自然共生事業推進室

連絡先：清水建設株式会社自然共生事業推進室  
〒104-8370 東京都中央区京橋二丁目16-1  
TEL 03-3561-4310  
<http://www.shimz.co.jp/>